

記

| | |
|--------|--|
| グループ名 | ここから（こころ・からだ）セミナー |
| 研究テーマ | 障害のある児童生徒への性教育 |
| 分 野 | 特別支援教育 (対象校種)小学校・中学校・特別支援学校 (対象教科)保健体育・生活単元学習・日常生活の指導 |
| 研究のねらい | 特別支援教育が必要な児童生徒への性教育をどのように行っていかべきかを、具体的な事例や実践例を基に学び合い、自分と他者を大切にする気持ちを育てる授業作りについて検討する。 |

研究・活動の概要

- ・小学校・中学校の特別支援学級、特別支援学校での性教育の課題と実践を持ち寄り、理念を学ぶ研修(事例の学習・講演会)と、授業作りに向けての研修(教材作製・授業研究)を行った。
- ・事例の学習会については、自己肯定感を育み、高めるための学習内容や教材について学んだ。
- ・授業作りに向けての研修では、教材 CD・DVD の情報交換やアロママッサージ等の実習、共同での教材作製、それを使った授業研究を行い、課題を整理して教材をさらに改善した。
- ・仙台市教育課題発表会に向けて、報告書やプレゼンテーションの作成について全員で協力して取り組んだ。

成果と課題

特別支援教育が必要な児童生徒への性教育については、「寝た子を起こさない」という考えでは対応しきれないケースが多く、誤った情報が入る以前に、理解が可能な限り科学的な方法で正しい知識と対応を学ぶ機会を設定していく必要があることが分かった。また、指導内容を精選し、理解を助ける教材によって、小集団での学習が可能になることも分かった。さらに、産まれてからこれまで愛され大切にされてきたということを認識させることで、自己肯定感を高めることができ、そのことが自分と他者を大切にする気持ちを育てる大きな原動力になることが確認できた。

課題としては、指導計画・指導内容・評価の検討、教育課程への位置づけの検討が上げられる。また、一貫性のある指導が必要な児童生徒のためには、関わる大人の連携が不可欠であり、学び合うネットワークを作つて継続して取り組んでいく必要があると考える。

構成員(8)名

| 氏 名 | 所属・職名 | 氏 名 | 所属・職名 |
|----------|---------------|-------|------------|
| (代表)大友良重 | 鶴谷特別支援学校・教諭 | 溝渕育子 | 蒲町中学校・教諭 |
| 嶺岸さゆり | 鶴谷特別支援学校・教諭 | 金子文美子 | 南吉成小学校・教諭 |
| 檜山理恵 | 鶴谷特別支援学校・養護教諭 | 神波聰子 | 鶴谷小学校・教諭 |
| 小山聰子 | 郡山中学校・教諭 | 中村仁美 | 栗生小学校・養護教諭 |